



石巻学 vol. 11

【特集】
ジンタ楽隊がやって来た！

まぼろしの農民楽隊を追って

かつて石巻に農民による音楽隊「北村大沢楽隊」があった。1925年に農村青年が集まって発足し、楽器の扱い方や楽譜の読み方を苦勞して学ぶ。戦時中は出征兵士を送る楽隊を、戦後は小学校の運動会での演奏をメインに、ジンタ（チンドン）演奏にも及んだ。1990年代以降、大沢楽隊はCD発売など熱狂的な注目を集めたが、2011年に90年間にわたる活動に終止符を打った。

小学校の運動会で 農民楽隊が生演奏

この大沢楽隊が演奏で活躍した石巻市立北村小学校が、2026年度をもって閉校することになった。2026年5月、北村小学校最後の運動会にあわせて、ジンタらムータの大熊ワタルさん、こぐれみわぞうさんらミュージシャンが結集、ジンタ楽隊を再現させた——本特集では、ジンタ楽隊復活のプロジェクトをはじめ、なぜ石巻とその周辺地域にいくつもの農民楽隊が生まれたのか、その歴史を解き明かす。

石巻学プロジェクト編

定価（本体 1500 円＋税） A 5 判並製 242 頁

ISBN978-4-911530-11-5 C0039 ￥1500E

【類書・関連書】

大島幹雄『喜劇を愛した鬼 澤田隆治』中央公論新社、2026 年

阿部万里江『ちんどん屋の響き』世界思想社、2023 年

細川周平『近代日本の音楽百年』岩波書店、2020 年。

奥中康人『和洋折衷音楽史』春秋社、2014 年

奥中康人『国家と音楽』春秋社、2008 年

石巻学プロジェクト（代表：大島幹雄（おおしま みきお）。大島幹雄氏はノンフィクション作家として活動するかたわら、サーカス学会会長、石巻若宮丸漂流民の会事務局長などをつとめています。著書に『日本の道化師 ピエロとクラウンの文化史』平凡社新書、『〈サーカス学〉誕生』せりか書房、『明治のサーカス芸人はなぜロシアに消えたのか』祥伝社、『満洲浪漫：長谷川濬が見た夢』藤原書店など多数。

アトリエ花粉館 電話0848-44-2436
広島県尾道市向東町37-2

J R C 経由ですべての取次への出荷が可能です。

返品は長期にお受けいたします（返品条件付注文扱い）。[了解者 JRC 宮尾]

ご注文は JRC へ FAX 03-3294-2177

注文書

書店名

注文冊数

冊

石巻学プロジェクト編

石巻学 vol. 11

アトリエ花粉館

ISBN978-4-911530-11-5 C0039 ￥1500E

（定価
本体1500円＋税）

ご担当者名